

福音の園だより

平成18年度「高齢者雇用優良事業所協会会長賞」受賞
平成27年度「介護職員確保・定着のための優れた取組」表彰
グループホーム・デイサービス介護保険事業者指定
350・0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一
特定非営利活動法人 福音の園・埼玉 事務局
☎ 049・230・1111(☎) 230・1112

ご家族の声

更に信じられない事が！

福音の園へアニマルセラピーのボランティアとして13年程伺っています。スタッフの皆様が入居者の方達に身内の様な接し方をなさっているのを見て、私達も犬達もリラックスした活動をさせて頂いています。しかし、肝心の私は、実家に高齢の父が一人暮らし。階段を踏み外したのを皮切りに、頑固さが倍増。ケアマネさんとの話で「もうそろそろ施設も」と方向が決まりました。困りあぐね、施設長に相談すると、信じられないタイミングで入居する事が出来ました。更に信じられない事は、70年以上続けたタバコの当日禁煙、リハビリパンツ装着??？そして「こんな良い所は、誰が探してくれたんだ?」「私です」「有り難う、有り難う」。

お知らせ

来春(31年2月)、**第二福音の園**【グループホーム・小規模多機能型居宅介護】開設目指し、「仮称**ケアステーション**福音の園 開設準備室」を開設いたしました。



「29年度」を振り返ってー理念・方針説明

つまらない記録でもメモして下さい！

グループホーム 福音の園・川越 ホーム長 杉澤 卓巳
「スタッフ皆様へ」「川越市・平成27年度 集団指導(川越市福祉部指導監督課並びに介護保険課主催)」報告をいたします。地域密着型事業者向けに、【介護サービス事業者 自主点検表】に基づいて指導がありました。

特に「6. サービスの提供の記録(2) サービスを提供した際には、サービスの内容、利用者の状況その他必要な事項を記録していますか」のページ項目では、

① つまらない記録でもメモして下さい。「箸が使えなくなった、ムセルようになった、歩きがおぼつかなくなった」等、利用者の状況を記録して下さい。

② 充分記録できるように、記録がとれる時間を確保して下さい。――以上のような説明・指導がありましたのでお知らせいたします。

【付記】昨年7月の七夕行事日。「Fさん



誤嚥事故により入院・その後死去退居」された一件では、ご家族様宛に再三「全身の機能低下が著しく、ご来園をお待ちしております」と、ホーム園便りに一筆添えてお知らせしていました。当初は「2ヶ月に一回のご来訪」も、成年後見人にS弁護士が選定され、自宅マンション売却清算後は安堵?されたのか、来訪回数も遠のき、園便り送付後「転居先不明」で差し戻された。慌てて電話して新住所を伺った次第でした。「家族関係疎遠」になりつつある中で起こってしまった、心痛む「誤嚥事故」でした。Fさんご本人様の無念をお察しいたします。

◎**お願い** 毎日の「生活記録」は、どんな些細なこと

でも、時間を確保して記録するようにお願いします。川越市指導にありました。万が一、介助中に事故が発生しても見苦しい言い開きをせずとも、「日毎の

介護記録が証明」してくれまますので安心して下さい。

2015.6.23 ホーム長

※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※

尊厳大切にいたす「つまらない記録」にはなさない

「ケアプラン」や「生活記録」が表面的なことしか書かれておらず、その人の「スケジュール表」になっってしまった。『どう生きたいのか』、『どうしたいのか』が書かれていないと研修会で指摘された。

「これまでのケア」に対して「これからのケア」は、「その人が何を望んでいるか、その人の思い入れをしつかり見ていく。その人の心理面へのアプローチに移りつつある。相手の不安感を読み取ってケアする能力(サインを見逃さない感受性の高さ)が求められるべく」と提示された。これを裏付けるように、

厚労省「看取りに関する指針」項目に「療養や死別に関する利用者及び家族の精神的な状態の変化及びこれに対するケアの記録」が義務付けられた。

三年前の6月、**「お願い」 毎日の「生活記録」は、どんな些細なことでも記録するようにして下さい**」と文書にして、各階へ知らせていた。その人が何を望んでいるか、「生きざま」と「どう生きたいか」を大切にしたいならば、決して「つまらない記録」にはならないはずだ、と手応えを感じたからだ。

※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※
『しばらくして姉たちが駆け付けてきた。僕は少し離れたところで「日常生活記録」を手取る。(中略)ペラペラとページをめくる。今まで何気なく見ていたこのノートの中に母の命の証があった。母はしっかりと支えられ、見守られていた。』【本誌第155号「ご家族の声」

日々記録し続ける「日常生活記録」を「手に取り」、そこに「母の生命の証があった」と感謝されたことを踏まえながら、ここに情報公開いたします。